

与那国島長命草生産組合

生産
部門

地域資源を活かしたふるさとづくり
(平成22年度認定)



与那国町では、近年の健康ブームの中で、高血圧・動脈硬化・リウマチ・成人病予防等に効果のあるボタンボウフウ（長命草）を新たな特産品として注目しており、拠点産地の認定に向けて、平成17年に「与那国町ボタンボウフウ産地協議会」を設立した。その年の3月にボタンボウフウ（長命草）の拠点産地として認定され、商工会が中心となってボタンボウフウの商品化に取り組んだが、加工技術と販売体制が確立できず、本格的な生産拡大には至らなかった。その後、任意組合が発足し、本土の健康食品製造会社と提携し、独自の加工技術を取り入れたことから商品化が本格化した。しかし、安定生産の面で課題が残っているため、安定生産・栽培技術向上に向けて、生産農家39戸で平成22年に与那国島長命草生産組合が設立された。

今後、長命草の多様な用途が将来有望視され、長命草による町おこしが期待され、地域の活性化に寄与しており、【地域資源を活かしたふるさとづくり】に取り組んでいる。

